

■小中一貫教育推進の取り組み

文部科学大臣が高島中学校を視察

1月13日（水）に、川端達夫文部科学大臣が高島中学校を訪問され、小中一貫教育の現状について視察されました。最初に、一年二組と二年二組の「未来（ゆめ）の時間」の授業を参観され、その後、高島小中学校の教員をまじえて懇談が行われました。



説明を受けて、川端大臣からは、「子どもの理科離れが進んでいると言われるが、中学校の理科教員が小学校で授業をすることでどのような効果があるか。逆に、中学校の授業に出向いている小学校教員はどのような感想をもっているか。」との質問がありました。これに対して、中学校からは「中学校教員の専門性をいかした授業を進めることにより、小学生の理科に対する興味・関心が高まった。」、小学校からは「中学校でどんなところにつまずくかがよくわかり、小学校で力をいれるべきところが改めてはっきりした。」と答えました。

懇談の最後に、「小中一貫教育を引き続きがんばってください。」という川端大臣からの励ましのおことばをいただきました。高島小中学校では、「今回の視察を機会に、ますます努力を重ね、よりよい学校づくりに励みたい。」と意を新たにしました。（学校教育課）

第1回定例会報告

1月22日開催

協議

- ・平成22年度高島市教育行政基本方針（案）について
 - 基本方針のテーマ『心のかようづくり』の実現に向けて、市内全域での小中一貫教育の推進、児童生徒の学力向上を図る取り組みの充実、家庭の教育力向上の取り組みを進めるなどの内容を盛り込んだ第1次案を協議しました。
 - 引き続き、次回定例教育委員会でも協議を行います。
- ・平成21年度教育に関する事務の管理および執行の状況の点検および評価について
 - 教育委員会は、所管する事務事業について、平成20年度から毎年点検および評価することとなっています。このため、平成21年度の点検および評価は、『平成21年度高島市教育行政基本方針』の主要事業を中心に実施することしました。
 - 今年度の点検および評価では、事務事業を「ソフト事業」「義務的事業」「建設・整備事業」「施設の維持管理事業」「内部管理事業」の5つに区分し、事務事業評価シートにより行います。この評価シートでは、事務事業を「概要」「目的」「コスト」「活動指標」「実績および成果」「評価」「今後の方向性と改善への提案」の項目で点検、評価していきます。

報告

- ・平成22年度全国学力・学習状況調査への参加について
 - 平成22年度から学力・学習状況調査は、抽出調査となりました。
 - 市では、引き続き全ての小中学校で調査ができるように国から調査用紙等の提供を受け、調査を実施することしました。
- ・平成21年度高島市学校給食週間の取り組みについて
 - 1月25日から29日は全国学校給食週間で、各学校給食センターでは地場産物を中心とした献立、リクエスト献立、お楽しみ献立など、工夫した取り組みが行われます。
- ・学校給食における食物アレルギーの対応について
 - 医師の診断により、牛乳が飲めない場合には、給食費の一部を減額する規則改正を行うなどの報告がありました。
- ・朽木村史の発刊について
 - 平成22年2月下旬の発刊に向けて、最終原稿が仕上がったとの報告がありました。



教育委員会Informationに対するご意見等は、高島市教育委員会事務局教育総務課 ☎(32)1132 までお気軽にお寄せください。

無料レンタルのはずが・・・

相談事例

宅配ビデオレンタルの「無料お試し」サービスがあり、インターネットで登録しました。一度も利用していないのに、いつの間にか月額会費が引き落とされていました。登録時にクレジットカード番号を入力した覚えはありますが、そもそも無料ではないのでしょうか。



宅配ビデオレンタルとは、借りたいDVDやCDをインターネットで注文すると、商品が自宅に配送され、返却は郵便などの方法で行うものです。

利用規約を見ると「無料期間を過ぎると月額会費が課金される」ことが書かれていました。「無料お試し」の表現が強調されていたため、「無料期間終了後は、自動的に有料会員登録になる」との認識がなかったと思われます。

トラブル防止のためにも、利用規約の内容をよく確認してから契約することが大切です。クレジットカード情報の入力要求された場合は、その目的を必ず確認することです。不明な場合は入力を避けましょう。

また、ポストに投函してから返却完了までに4～5日を要したため、無料期間内に退会ができずに課金されたというトラブルも見られますので、続ける意思がない場合は、早めに解約手続きをしましょう。

岡市民課 市民相談室 ☎(25)8125

蛍光管と乾電池の分別にご協力を！

蛍光管は水銀が使われているため**有害ごみ**として収集しています。皆さんに分別していただいた蛍光管は環境センターに集まり、ガラス・アルミ・水銀等に分け適正にリサイクルしています。

蛍光管を出す際は、**割らずにそのまま回収箱に入れてください**。割れると缶の内部から水銀を含んだ粉が出てきますので、取扱いに十分ご注意ください。

なお、白熱灯（電球）は燃えないごみA類になります。

また、乾電池も有害ごみとして出してください。

生活に欠かせない蛍光管および乾電池を適正に分別していただくことで、貴重な資源が回収され、新しい製品の原料として利用されます。私たちの身近なところからリサイクルについて考えてみましょう。



岡環境政策課 ☎(25)8123